

パターン配本はありません。希望する部数での事前指定をお願いします。

芸術・美術 ご担当者様

2月10日頃 取次搬入予定

ISBN 978-4-904702-84-0 / C3070 / A5判 上製 288頁 本体 4,200円

# 甦る豎琴 喜多崎親

## ギユスターヴ・モロー作品における 詩人イメージの変遷

画家が生涯描きつづけた詩人の主題。  
そこに託したメッセージとは何か。

ギユスターヴ・モロー（1826—98）が、  
1860年代から晩年にかけて制作した  
6つの作品を対象に生成過程を分析し、  
詩人イメージがいかに形成され  
変容していったかを明らかにする。



モロー《オルフェウス》部分  
1865年、パリ、オルセー美術館

19世紀後半、  
新しい芸術の担い手たちが  
次々に登場する時代、  
新しい歴史画を模索したモローは、  
独自の図像を生み出していった。

喜多崎 親（きたざき ちかし）

成城大学文芸学部教授。早稲田大学大学院文学研究科博士課程中退。博士（文学）。国立西洋美術館主任研究官、一橋大学大学院教授などを経て現職。専門は19世紀フランス美術史、特に近代の宗教画や象徴主義。

著書に『聖性の転位——一九世紀フランスに於ける宗教画の変貌』（三元社、2011）、『岩波 西洋美術用語辞典』（益田朋幸と共編著、岩波書店、2005）、編書に『近代の都市と芸術1 パリI』（竹林舎、2014）、『前ラファエッロ主義——過去による19世紀美術の革新』（三元社、2018）など。

### 主要目次

#### 序論

第一章 インスピレーションの寓意  
——「ヘシオドス」テーマの変奏

第二章 哀悼の神話  
——新しい神話画としての《オルフェウス》

第三章 オリエント幻想  
——《聖なる象》の異国趣味

第四章 詩想の喪失

第五章 浄化と再生  
——《ユピテルとセメレ》の逸脱

第六章 甦る豎琴  
——《死せる豎琴》と終末のヴィジョン

#### 結論

あとがき

文献一覧／図版一覧／索引

羽鳥書店

東京都文京区千駄木 1-22-30 ザ・ヒルハウス 502 〒113-0022  
TEL 03-3823-9320 [担当：矢吹]

FAX 03-3823-9321

番線印	書名	著者	本体	ISBNコード	冊数
新刊	甦る豎琴——ギユスターヴ・モロー作品における詩人イメージの変遷	喜多崎 親	4,200円	978-4-904702-84-0	
既刊	もうひとつの自然 × 生きている老松	山本浩二 (作品集)	5,000円	978-4-904702-56-7	
	絵は語り始めるだろうか ——日本美術史を創る	佐藤康宏	12,000円	978-4-904702-72-7	
	日本美術のつくられ方 ——佐藤康宏先生の退職によせて	板倉聖哲・ 高岸輝[編]	12,000円	978-4-904702-82-6	

ご担当者名

配本の都合上 2月2日までに返信くださるようお願いいたします。

【取次】日販・楽天 BN・八木書店・大学図書 \* トーハン他にも納品します。(返条付注文扱)